

"しんじ"を信じる 京都府議会議員 二之湯真士 事務所 第4号

ニノ湯真士通信

~今こそ、伝統が未来を拓く!~

編集・発行 二之湯真士事務所
〒616-8167
京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL: 075-862-1355
FAX: 075-862-1350
e-mail: ninoyushinji@palette.plala.or.jp

米国発の金融危機の影響で国内の景気も悪化し、先行きの不透明感が増しています。京都府内の状況も厳しく、9月議会に続き、12月議会にも緊急経済対策の補正予算案が提出される見込みです。まさに政治・行政が住民生活を守る立場で踏ん張る時です。

そんな折、京都府では2つの出来事が相次ぎました。まず、国庫補助金の「不適正支出」問題です。その多くは出張旅費ですが、国庫補助事業の出張と府の単独事業の出張を兼ねたものはいけなというものです。例えば、A市で国の補助事業の道路事業と府単独の道路事業があり、国庫の旅費による出張で府の事業も視察すれば不適正とされるのです。この考え方は、出張が増え、しまい、税金の無駄遣いになります。「国家」財政を司る財務省と「地方」行政を指導する総務省が対立する行政の覇権争いの感もありませんが、地方は、住民本位の立場で、国に対して「おかしー！」と主張すべきです。

次に、大戸川ダムの事実上の「建設中止」を求める4府県知事合意です。これは、国の淀川水系河川整備計画に反対して地方が事業のあり方を主体的に提案したもので、地域主権の前進という意義を持ちます。しかし、合意内容は、流域市町村や住民の意見を汲んだとは言えず、怒りや落胆が表明されました。これでは、京都府知事らが「国」対「地方」の構図にこだわったパフォーマンスとすら見られかねません。真に地域主権を言うなら、流域市町村の想いこそもっと大切にされるべきです。

今は課題が山積する困難の時代です。国民・住民不在のまま、行政が、「国」対「地方」の覇権争いにこだわるのは、大きな損失です。我々議員は、行政が住民の幸せに有効に機能しているかどうか厳しく監視するという役割を、より強く自覚すべき時だと思います。



真の地域主権に向かって頑張ります

いつもお世話になり有難うございます。風邪などにはくれぐれもご注意ください。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

テレビ出演が
続きます！
是非ご覧下さい。
KBS京都

- ◆「政治を語る」総務常任委員会
11月30日(日)
10時00分～11時00分
- ◆「12月定例会」本会議
12月5日(金)
13時00分(代表質問
「地域力の再生」という大きなテーマに沿って
○「地域社会」の活性化
○「府市協調」
○「文化力による産業育成」
などについて質問する予定です。

ホームページもご覧下さい！
URL: www.ninoyu.net

◆ブログも随時更新中！是非ご覧下さい。

二ノ湯真士 検索

◆携帯電話用のメールマガジンの配信も行っております。ご登録は、HPもしくは右のQRコードからお願いします。

ビデオの貸出を致します！

◎「政治を語る」(TV常任委員会)
◎本会議での質問 平成19年度2月議会、平成20年度9月議会のビデオをお貸し致します。
なお、これらの様子は、府議会HPでもご覧いただけます。
http://www.pref.kyoto.jp/gikai/

<色々な形で活動をお伝えします。皆様からもご意見や感想をお願い致します。>

府議会活動

9月定例会 一般質問

10月1日の本会議で、「地域力の再生」と、前回に続き「森林整備」について質問しました。ともに選挙での「支えあい助けあふ地域づくり」「自然との共生」との訴えをふまえてのことです。概要は次の通りです。

地域力の再生における府の役割について

〔二之湯〕京都府は間接行政・広域行政が仕事である。地域力再生交付金事業では直接住民に対応しているが、住民との窓口は市町村にまかせ、複数の市町村にまたがるような問題に対処するため、大所高所から事にあたるべきではないか？

また、広域行政の立場から、府が主導して都市住民の協力を得て森林整備をする仕組みを作るべきだと思う。京都市との共同研究に同意した「森林環境税」について、知事のお考えは何か？

〔山田知事〕京都府の事は、治安・河川・土木などは直接行政がほとんどであり、市町村をまたぐ広域的な課題を解決するためにも、広域的に住民と接する中で市町村との協同関係を作っていくのが大切である。

森林整備には財源が必要だ。新税の導入については、京都府森林環境対策検討会や議会の意見も伺いながら、経済状況も考えて議論を深めたい。



〔二之湯〕府の地域力再生支援事業は、「新規性」のある活動に交付金を出す仕組みのため、消防団・社会福祉協議会・体育振興会など日々の業務を粛々と行う地域組織などに交付されにくい。しかし地域力の再生を言うなら、まず地域の骨格である組織を手当てすべきと思うが、どう考えるのか？

〔太田総務部長〕確かに、京都府域ではNPOなどの団体への交付が多い。自治会などの地域組織には、NPOや大学など新しい地域の担い手との交流を支援し、その中で課題解決への機運を高めて欲しい。「新規性」とは、少しの工夫を加えた新たな試みという程度でも良い。

故郷への理解や愛情を深める教育について

〔二之湯〕地域力の再生には、故郷への理解や愛情が不可欠である。そのためには、学校教育で地域の文化や歴史などを教えることが極めて重要だと思うが、どう考えるのか？

〔田原教育長〕ご指摘の通り、子供達が生まれ育った地域への誇りや愛情を持つことは大切な。府内全ての地域で社会科の副読本や体験学習・聞き取りなどを通して、そうした教育を行っている。今後もしっかりと取り組みたい。

有害鳥獣対策と森林整備について

〔二之湯〕鳥獣による田畑への被害がひどい中山間地域においても鳥獣保護区を設定する計画があるようだが、どう思うのか？

〔黄瀬農林水産部長〕地元の理解がなくては、新たな鳥獣保護区の設定はできないが、保護区でも、営農への被害が深刻な地域は防護柵の設置や鳥獣の捕獲もできる。

〔二之湯〕京都府において、経済性が確保できる「木材生産型森林」と環境を守る観点から整備をする「環境保全型森林」を区分する「森林利用保全方針」の検討状況は？

〔黄瀬農林水産部長〕各地の自然・歴史的な条件をふまえて、現在検討している。平成21年度の早いうちに議会にも報告し策定をしたい。

〔二之湯〕水や多くの動植物を育む「命の源」である山を守っている林業労働者は、もっと社会的に評価されても良い。府としても、広報媒体を使いPRに努める必要があるのではないかと？

〔黄瀬農林水産部長〕林業労働者の知恵や技術、活躍されている様子を、府のHPや府民たより、またマスコミを通じて、広く府民にPRすることに努めたい。

その他の議会活動

- ◆9月定例会
緊急経済対策として100億円規模の補正予算などを可決しました。
9月24日～10月3日
...本会議
- ◆10月6日～9日
...委員会審議
- ◆10月10日...本会議
【決算特別委員会】平成19年度決算を審査しました。国庫補助金の「不適正支出」問題で、認定は持ち越しとなりました。
- ◆10月22日～11月7日
...書面審査
- ◆11月10日...11日
...現地調査
- ◆11月13日...総括質疑

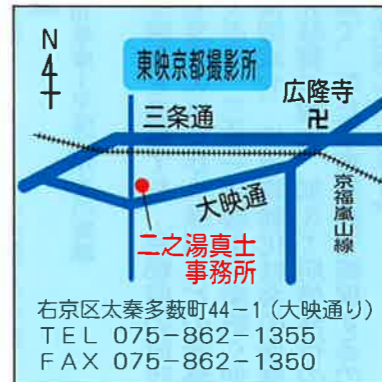
二ノ湯しんじ 後援会組織設立のお知らせ

府議会議員として2年目を終える今年度末までに、私の後援会組織を正式に設立して頂ける運びとなりました。設立総会は来年3月を予定しておりますが、詳細は後日お伝え致します。皆様には、会の設立に向けて引き続きの温かいご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務所へお気軽におこしください

皆様にとって、国と京都府・市町村の仕事の役割分担は分かりにくいものです。「どこに相談に行けばいいのかわかるか？」とお悩みになる前に、私の事務所を行政の総合窓口としてご利用下さい。

地域やNPOなどの団体での取り組みや課題などについても、色々とご相談下さい。



二ノ湯しんじは、教育のこと、環境のこと、福祉のこと、地域のこと、そして京都や日本の未来のことなど、皆様とお話をできる場をたくさん作っていきたいと考えています。時間や場所、人数は問いません。どのような会でも結構です。皆様のお声を聞かせてください。

◎お問い合わせは、二ノ湯真士事務所まで



二之湯真土府政報告会
「詰め込み」か「ゆとり」かという議論は、主に学力についてのことです。それも大切ですが、犯罪の低年齢化や陰湿ないじめなどが問題になっている昨今では、「心」の教育が喫緊の課題で、地域の教育力も非常に大事だとお話ししました。

○教育に対する関心

政治家は「なるほど、そうか」と聞く者の心をつかむ話をする必要が... 同時に八方に気を配り誤解の無い言葉を使うことも大切です。自分の想いをうまく伝えきれなかった部分もあったことが頂いたご意見から分かりました。今後もしっかりと言葉を磨きます。

○政治家にとって言葉は命

当日は、府議会議員としての1年半を振り返り、文教委員の経験から「教育」のことを、そして林業体験をふまえて「森林の再生」のこと。総務委員の経験から「地域力の再生」のことなどをお話ししました。

府政報告会
10月9日(木) 18時30分 於：アークホテル

130人を超える方々にご参加頂いて盛会でした。有難うございました。当日の様子や感想を、頂いた質問・アンケートの結果などもふまえてご報告させていただきます。

「詰め込み」か「ゆとり」かという議論は、主に学力についてのことです。それも大切ですが、犯罪の低年齢化や陰湿ないじめなどが問題になっている昨今では、「心」の教育が喫緊の課題で、地域の教育力も非常に大事だとお話ししました。
「そんな社会が本当に実現したらいいね」とお言葉を頂き、勇気が出ました。皆様、一緒にがんばりましょう！

○もっと明確に幸せな社会を語れるように

「物の時代から心の時代」へと変わって久しい。先輩方が焼け野原から必死で働いて豊かな社会を作ってくれた。次は、我々が「心の豊かさ」を築いていく番だと思ふ。顔の見える地域の中で、自分が認められる、そんな幸せを求めているのではないか。映画『三丁目の夕日』が流行ったのは、その証拠だと思ふとお話しました。

○森林環境税について

林業という産業では山はもう守れない。是非とも森林環境税を早期に導入すべきだと訴えました。回収できた7割程度のアンケートの内、9割以上の方が導入には賛成で、負担額は1世帯あたり年額500円、1000円が大半でした。「今ある財源で工夫すべき」との意見から、行財政改革への要請も強いことを感じました。一方で「増税は反対だが、山を守るためならやむを得ない」との意見も多く、環境保全に対する意識の高まりも感じました。京都府財政の現状(下段参照)を考え、慎重でありながら緊急の決断が必要です。



京都府では、地域に暮らす方々の自主的な街づくり活動を支援しています。
○京都市内の活動には1/3
○それ以外の市町村の活動には2/3
平成21年度事業も予定されています。お問い合わせは、二之湯事務所まで。

地域力再生プロジェクト 支援事業交付金

こうした取り組みを進めても、京都府の財政構造はそもそも支出の多くが人件費などの義務的経費が占めており、三位一体改革以来続く地方交付税の大幅削減や、少子高齢化社会の進展による福祉関係経費の増大、加えて府債発行の抑制などの理由で、新たな事業費を確保するのは極めて困難な状況にあります。

京都府の財政について

京都府は、地方自治体の中で財政状況は比較的健全で、京都府債の格付けも東京都などに次ぐ上位クラスです。これは近年の行財政改革の成果でもあります。
〔行政経営改革〕
業務改革、施策の選択・集中、自主財源の確保で560億円の成果
〔人員定数削減〕
警察官・教員除く9000人の職員の内、740人削減
*いずれも平成18年度〜平成20年度の実績

9月の主な活動 活動日記

<自民党府議会議員団視察>
宇治市以南地域の各地を視察しました。写真は、京都府の景観資産登録地区でもある和東町の茶畑。



- 1日：京都市総合防災訓練
6日：花園消防分団60周年記念式典
7日：京都府相撲選手権大会
8日：関西観光振興議員連盟
10日・11日：自民党府議会議員団視察(京都府南部地域)
13日：SKYふれあいフェスティバル、自民党右京支部総会
15日：京都府総合防災訓練
17日：政策常任委員会(広域行政にあり方について)
21日：松尾祭 桂川舟渡御25周年記念祝賀会
26日：京都府立豊学校体育大会



<京都府総合防災訓練>
東南海・南海地震の発生で相当の被害が予想される府南部地域において、府と2市2町合同での防災訓練。約1200名が参加。日頃の備えが大切です。

10月の主な活動

- 2日：自民党府議会議員団1・2期生合同勉強会
4日：太秦体育振興会懇親会
5日：白杖安全デー(視覚障害者の交通安全を考える)
7日：森林・林業活性化議員連盟総会
9日：府政報告・懇親の夕べ(詳細はP.3に)
10日：早稲田大学京都校友会「御車会」
11日：「NPOいじめから子供を守ろう!ネットワーク」講演会
13日：ガールスカウトフェスタ
15日：京都市自治記念式典
17日：土地家屋調査士会研修会
18日~21日：北朝鮮訪問
31日：源氏物語千年記念コンサート



<自民党府議会議員団1・2期生合同勉強会>
各地で自治体の破綻が懸念されますが、府は従来から健全な財政運営をしています。公共事業激減による地方の疲弊や医療・福祉の需要が増える中で、後世につけを残さない程度に府債の発行を増やすのも必要かもしれません。



<北朝鮮訪問>
「百聞は一見にしかず」です。貴重な機会でしたので、府議会議員有志と北朝鮮を訪問しました。歴史認識の隔たりは大きく、東アジアの安定には相当な外交努力が必要と痛感しました。写真は、板門店で北朝鮮の民兵と。

<宇治・源氏物語ユビキタスガイド実証実験>
車イスの方、聴覚障害者の方にも観光を楽しんでもらえるように、画像・音声付の観光情報端末を用いた実証実験に参加しました。(平等院の鳳凰堂前にて)



- 1日：源氏物語千年記念式典
2日：右京区民ふれあいフェスティバル
6日：京都府歯科医師連盟との意見交換会
7日：廃棄物適正処理推進大会
8日：私立幼稚園連盟総会
10日・11日：決算特別委員会現地調査
14日：宇治・源氏物語ユビキタスガイド実証実験
16日：モデルフォレスト運動2周年記念シンポジウム
21日：丹後あじわいの郷・碓高原牧場を視察
22日：青年政治大学校(自民党府連青年局主催)
27日：「政治を語る」(総務委員会)の収録



<決算特別委員会現地調査>
決算特別委員会委員として、平成19年度の予算が実際にどう使われたか、各地の事業現場を視察。写真は、桂川右岸地域の洪水を防ぐために、地下に約5万トンの雨水を貯められる「いろは香龍(どんりゅう)トンネル」の入り口です。

11月の主な活動

《9月・10月の週末には、各学区で運動会やふれあい祭り等が開催され、時間が許す限り参加しました。》